

【知恵2:wisdom】二回目

前回は、人の知恵と神の知恵の違いを書きましたが、その違いは何でしょうか。神が天と地を創造された時、知恵を用いられました。箴言8章25～27節『25 山が立てられる前に、丘より先に、わたしは生み出された。26 主がまだ地も野原も、世界の最初のちりも造っておられなかつたときには。27 主が天を堅く立てられたとき、わたしはそこにいた。…』【25Before the mountains were settled,Before the hills, I was brought forth;26While as yet He had not made the earth or the fields,Or the primal dust of the world.27When He prepared the heavens, I was there,…】この個所では、擬人法が用いられ、「知恵」を「わたし」と表現しています。この天地は神が創造され、知恵が満ちているところです。人の知恵も素晴らしいです。近い将来に宇宙旅行も夢ではなくなるでしょう。誰もが宇宙に行ける時が来ると思います。神は天と地、及び宇宙も造られました。神は宇宙の隅々までも知っておられます。箴言3章19節『主は知恵をもって地の基を定め、英知をもって天を堅く立てられた。』【The Lord by wisdom founded the earth;By understanding He established the heavens;】人は宇宙が永遠に存在すると考えます。しかし、イエス・キリストは、天地は滅びると言われます。マタイ24章35節『天地は消え去ります。しかし、わたしのことばは決して消え去ることがありません。』【Heaven and earth will pass away, but My words will by no means pass away.】

私たちは現代に生きています。現代の知恵文学として考えられるテーマは、「人は何のために生きるのか」、昔も今もそのテーマは生きています。さて、その問い合わせに対する答えは何でしょう。天地創造の神を知っている者にとっては、答えはいとも簡単です。しかし、神を知らない者にとっては難解です。答えを導くことはできません。なぜなら、人がこの世に生きている期間はわずかだからです。「露と落ち 露と消えにし我が身かな 浪速のことは 夢のまた夢」これは豊臣秀吉の辞世の句として知られています。天下をとった秀吉は、死ぬときには、人の世のはかなさを歌いました。ソロモンも同じようなことを書いています。伝道者の書1章2～3節『2 空の空。伝道者は言う。空の空。すべては空。3 日の下でどんなに劳苦しても、それが人に何の益になるだろうか。』【2 “Vanity of vanities,” says the Preacher;“Vanity of vanities, all is vanity.”3 What profit has a man from all his labor In which he toils under the sun?】

伝道者の書1章9～10節『9 昔あったものは、これからもあり、かつて起こったことは、これからも起こる。日の下には新しいものは一つもない。10 「これを見よ。これは新しい」と言われるものがあつても、それは、私たちよりはるか前の時代にすでにあったものだ。』【9 That which has been is what will be,That which is done is what will be done,And there is nothing new under the sun.10 Is there anything of which it may be said, “See, this is new”?It has already been in ancient times before us.】私たちは、日々に新しいものが発明、発見され、生活が良くなると思っているのではないでしょうか。しかし、聖書には今ある物は昔からあった物だと書かれています。昔の人よりも、現代のの方が知恵を持っていると言い切れるでしょうか。

人が神を知ろうとする時、知恵を用いますが、人の知恵によっては神を知ることができません。その結果、人は神はいないとか、神を信じることは無駄だと判断します。では、どうすれば神を知ることができるのでしょうか。ルカの福音書10章26節『イエスは彼に言わされた。「律法(聖書)には何と書いてありますか。あなたはどう読んでいますか。』【He said to him, “What is written in the law(Bible)? What is your reading of it?”】

聖書にすべてが書かれてあります。それをどう読むか？それは、人によって読み方は違うでしょう。AIに「真理」を尋ねるとこういう答えが返ってきます。{「真理」とは、事実や現実に一致していること、または普遍的に正しいと認められる知識や原理を指します。例えば、「水は100度で沸騰する」というのは、科学的に検証された真理です。}科学的に検証されたものが真理です。神はすべての人に真理を教えようとしています。

I テモテ2章4節『神は、すべての人が救われて、真理を知るようになることを望んでおられます。』【who desires all men to be saved and to come to the knowledge of the truth.】神は人が、まず救われて、それから真理を知るように願っています。「救い」については、過去に記載された「救い」を参考にしてください。イエス・キリストは「わたしが真理です。」と言われました。このようなことばを言うことができる人は皆無だと思います。しかし、イエス・キリストは言い切っています。なぜそのように言うことができるのでしょうか。イエス・キリストは世に来られた神の御子です。永遠から永遠におられる方です。ヨブ記12章13節『「知恵と力は神とともにあり、思慮と英知も神のものだ。(別訳:知恵と力は神にあり、計り知れない計らいと悟りは神に属する。)』【“With Him are wisdom and strength,He has counsel and understanding.”】